

私保連しませ No.60

Contents

- 子どもたちの「なぜ？」に、私たちはどう応えるか … 2、3
- こんなところに行っています …………… 4、5
- 郷土食について…………… 6、7
- 令和7年度 各専門部活動報告 …………… 8、9、10

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



大森さくら保育園は、全国や世界から留学生を受け入れ、子どもたちが日常的に多様な友だちと出会える国際的で豊かな環境を育んでいます。

園内には江戸時代の武家屋敷があり、「かまど体験」を楽しめるのも特色です。

「かまどごはんの日」には、子どもたちが火を起こしてごはんを炊き、協力しながら取り組む中で食の大切さや作る楽しさを感じています。

地域や他園との交流も積極的に行っておりますので、ぜひお気軽に遊びにいらしてください。

園長 橋田 智香



<http://www.sweet-house.jp/shimane-shihoren>



私たちはどう応えるか 伝えるということ —



助産師
杉井 美保

「赤ちゃんを授かりました」

この言葉を聞くたびに、私はいつも考えます。

「授かる」とは、神や仏、あるいは自分より立場の上の存在から与えられること、「賜る」という意味を持つ言葉です。

昔の人々にとって、妊娠するという出来事は、神や仏が関わっているのではないかと思うほど、不思議で神秘的なものだったのではないのでしょうか。

医学が発達した現代においても、妊娠・出産にはまだ解明されていないことが多くあります。

専門職である私自身も、「なぜこうなるのだろう」「どうしてだろう」と感じる場面は少なくありません。

保育園の子どもたちは、まさに「なぜなぜ世代」です。

命に関する問いを、遠慮なく、そして真剣に投げかけてきます。

「赤ちゃんはどうやってできるの?」

「赤ちゃんはどこから生まれるの?」

「死んだらどうなるの?」

こうした問いに、私たち大人はきちんと向き合えているでしょうか。

受け止めて考え、子どもに返す「キャッチャー」になれているでしょうか。

あるいは、受け取ることを避け、知らないふりをする「バッター」になってしまっていないでしょうか。

いにどう答えてよいのか分からず、戸惑ってしまうのです。

包括的性教育という考え方

子どもには「知る権利」があります。

命や体について知ることは、子どもの人権の一部です。

包括的性教育とは、単に性行為を教えることではありません。

自分の体を知ること、成長の変化を理解すること、命の始まりや大切さを、さまざまな視点から伝える教育です。

私たちはすでに、食育や安全教育の中で、命の大切さを伝えていきます。

そこには、生産者や栄養士、警察、保育士、教員など、多くの専門職が関わっています。

性に関する教育も同じです。

保育士、教員、助産師、医師などが、それぞれの立場から、年齢や発達に応じて伝えていくことができます。

国際的には「国際セクシティ教育ガイダンス」という、年齢別に整理されたプログラムも存在します。

日本ですぐにすべてを導入することは難しいかもしれませんが、考え方を知ることが、私たちの保育を見直す大きなヒントになります。



子どもたちの「なぜ？」に、 —いのちと性を

なぜ、大人は答えに迷うのか

日本は、性に関する教育において後進国だと言われている。

私が助産師になった頃、外部講師として園や学校で話す内容の多くは、出産の映像や体験談を通して「お母さんはすごい」「赤ちゃんも頑張って生まれてきた」という感動を伝えるものでした。

もちろん、それは大切な視点です。

しかし、「では、赤ちゃんはどうやってできるのか」という問いに、正面から触れる機会はほとんどありませんでした。

その背景には、性教育の歴史があります。

100年以上前、性に関する知識は「若者に安易に与えるべきではないもの」とされ、教育の中にはいわゆる「歯止め規定」が設けられました。

現在も、小学校や中学校の学習指導要領では、

「人の受精に至る過程は取り扱わない」

「妊娠の過程は取り扱わない」

と明記されています。

その結果、子どもたちは、いきなり「胎児」から命の話を学ぶことになります。

当然、「なぜ？」が生まれます。

一方で、大人自身も、性行為について正しく学ぶ機会がないまま育ってきました。

「口にしてはいけない」「恥ずかしいもの」という価値観の中で、大人になった私たちは、子どもの間

保育の現場だからこそできること

性や命の話は、特別な時間を設けなければできないものではありません。

日常の保育の中で、子どもが「なぜ？」と感じた瞬間こそが、最も大切な学びの機会です。

小さいうちから自然に触れ、正しい言葉で伝えることは、遠回りのようでいて、実は最も確実な方法です。

正しい知識を知っていることは、将来、誤った情報や危険から自分を守る力にもなります。

私たち大人の価値観や「色眼鏡」で、伝えることを制限してはいないでしょうか。

「これはまだ早い」「これは言わないほうがいい」その判断は、本当に子どものためのものでしょうか。

いのちの教育を、つないでいく

保育士養成課程の中にも、幼児期の性教育や命の伝え方について、より深く学ぶ機会があればよいと感じています。

今こそ、保育士をはじめ、助産師、教員、医療職など、さまざまな職種が手を取り合い、継続的に「いのちの教育」を行っていく時ではないでしょうか。

子どもたちの「なぜ？」を受け止めるキャッチャーとして、私たち大人が、共に学び続けていけることを願っています。

行っています



「KIYA」

くもぎ保育園 副園長 吉田 大 心

浜田市の中心部からひと足のばした金城町に「KIYA」という、古民家カフェがあります。「くらしに彩を」をコンセプトに、日ごろから木こりを生業としていて屋号も「木屋」という、木と縁の深い店主が営んでおられます。

お店の周りも木や田んぼで囲まれて自然豊かな立地となっており、カエル・イモリといった生き物がたくさん生息しているので、子どもたちにも大人気の場所です。(ヤギも飼っておられます)

園から1キロもない程の距離なので、主に3歳以上児で散歩の際に訪れて遊んでいます。天気の良い日には園から食材を持参し、バーベキューをしたり、羽釜でご飯を炊いたりしてキャンプごっこを



楽しんでいきます。

また、カフェの料理にはすべて、営業日の朝に汲み出した天然水「金城の華」を使用するなど、地元の食材にこだわったメニューを提供しておられます。金城町にお越しの際は、ぜひ足を運んでみてください。



湖陵総合公園へ遠足に行きました！

わたりはし保育園 主任保育士 安井 亜 貴

11月初めに3歳以上児が出雲市湖陵町にある湖陵総合公園へ秋の遠足にでかけました。湖陵総合公園は、野球場やテニスコート、多目的広場、子ども広場など各種施設を備えているスポーツ公園です。公園内にはたくさんの木々が植えられており、四季折々の表情を楽しむことができます。子ども広場周辺にはどんぐりや椎の実などの木があり、遊具での遊びはもちろん秋ならではの自然物集めも楽しめます。先日の遠足でも、子どもたちは夢中になり



ながら木の実を拾い集め、「見てー！こんなにいっぱい！」と得意顔でした。この日は心地よい秋の日差しの中でお弁当を食べて帰りましたよ。また、公園内には森へ続く散策道があり、ちょっとした探検気分を味わえます。多目的広場の斜面はすべて遊ぶこともできます。このように、自然に触れながら様々な体験を大人も子どもも楽しむことができる公園です。皆さんも、ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。





こんなところに

城谷こども園 園長 住 田 美智子

民謡「安来節」で知られる安来市にある城谷こども園です。高速道路や、側道が近くにあり、交通に便利な立地にあります。園の周辺には安来市総合文化ホール「アルテピア」、神社、社日公園等があります。その中でも、子どもたちと園外保育でよく出かける「社日公園」を紹介したいと思います。

社日公園は、片道20分の所にあり、桜の名所でもあります。春にはお弁当を持って出かけ満開の桜の下でお花見、夏には園内にある池でザリガニ探し。子どもたちは枝を使い上手に見つけます。秋にはどんぐり、落ち葉等自然物を探し拾い集め園で製作やままごと遊びに使っています。また、遊具、広い芝、山もあり子どもたちは山道を駆け上がったたりして身体全身を使って遊んでいます。

春にはぜひ満開の桜を見に安来市に遊びに来てください。



波子保育所 所長 本 田 美 雪

江津市からご紹介するのは、「しまね海洋館アクアス」です。全国的な知名度を誇る施設ですので、すでに来られた方も多いと思いますが、改めてご紹介させていただきます。アクアスは季節によって、様々なイベントをしております。12月にはクリスマスのイベントが多く、特に「サンタさんをさがせ」では、館内を巡ってすべてのサンタさんを見つけると最後にガラガラを回してステキな景品がもらえます。人数制限がないので、全員で参加できるのが嬉しいですね。当保育所では毎年参加している楽しいイベントです。

アクアスは館内だけでなく、館外のアクアスランドでも楽しく遊べます。令和3年からは幼児向けの「あそぼっこ広場」が設置され、ますます魅力的な場所となりました。未満児用のゾーンは柵に囲まれているので迷子の心配がありません。また、自然に囲

まれた公園内で秋にはどんぐり拾いも楽しめます。9号線沿いの駐車場はどんぐりの並木があって、大量のどんぐりが落ちています。ここで採れるどんぐりにはなぜか虫が入っておらず、制作にもおススメ！毎年拾いに行ったら、ままごとやクリスマスリース作りなどに使って楽しんでいます。

お弁当を食べる時、冬場に重宝していた温室はキッズハウスになってしまったので使いにくくなりましたが、正面入り口に隣接している観光情報館は飲食可です。トイレも近くて便利です。屋外であれば、ハッシータワーの橋を渡った先の海もおススメです。日陰もあり、海を見ながらのランチタイムも素敵ですよ。

魅力いっぱいのアクアス！バイパスが通って少し近くなりましたので、東部の方もぜひお越しください。





大人も子どももみんな大好き！「箱寿司」

サンチャイルド長久さわらび園 園長 宇 谷 みどり

大田市で古くから親しまれてきた伝統的な郷土料理の一つに「箱寿司」があります。お祭りや祝い事などのハレの日に食べられてきた押し寿司です。

保育園では、端午の節句に合わせ、毎年 5 月に JA 女性部の方に子どもたちの目の前で箱寿司を作っていただいています。ごぼう、人参、しいたけ、かんばん、油揚げなどの具材を細かく刻んで煮て、酢飯の間に挟み、その上に錦糸卵を飾ります。

6 升用の専用の寿司箱を使って作り、できあがったお寿司の木枠を外して現れる大きな箱寿司は、色鮮やかでとても華やかです。子どもたちは、「うわ～！ケーキみたい！」とそのできあがり歓声を上げて喜んでいきます。

年長児は、手軽に作れる 1 合用の寿司箱を使って、JA 女性部の方に教えてもらいながら箱寿司作りに挑戦します。

できあがった箱寿司は、子どもたちの健やかな成長を願い、みんなで一緒にいただきます。箱寿司に添えるのは、これも大田市の郷土食の「天ぶら饅頭」です。紅白の饅頭に衣をつけて揚げた天ぶら饅頭も、子どもたちには人気です。

地域の伝統料理の味を守り、伝え続けていってほしいと思います。



こじょうゆみそ作り

けいしょう保育園 園長 青木 豊美

けいしょう保育園では、豊かな食体験を通して「食を営む力の基礎を培う」ことを目標とし、「食べることが大好き！」な子どもを育てていくために、年間を通してさまざまな食育活動をしています。

郷土料理では、14年前から年長兄が「こじょうゆみそ作り」をしています。始まりは、職員が地域の方に教えていただいたレシピを基に、栄養士が保育園向けに調味料を調整して作り始めました。

栄養士が「こじょうゆみそ」の食材（米こうじ、しょうゆ、みりん、水あめ）を見せると、匂いや色などに関心を示し、特に米こうじのにおいを嗅いだ時には、「くさい！」と初めての匂いに顔をしかめていましたが、水あめの時には、スプーンから垂れる一滴を慎重に指で受け取り、口に運ぶと「あま〜い！」と一変笑顔になっていました。全てを合わせると臭かった米こうじの匂いも「いいにお〜い！」に変わっていました。翌日から2週間、毎日3時のおやつ後に2人ずつ給食当番が混ぜ、米こうじに調味料がだんだん染み込んでいく様子を「だんだんお汁がなくなってきた」「どろどろになってきた」と変化に気づき、8月12日の完成をみんなで喜び合いました。

13日には、さっそく給食時に自分たちが育てたキュウリに付けて食べました。「あま〜い」「おいし〜い」と言い、キュウリの苦手な子も喜んで食べていました。その後は、給食の献立の中で、“こじょうゆみそ和え”や“焼きおにぎり”等にして今も食べています。

「こじょうゆみそ作り」を通して、こじょうゆみその味が故郷への親しみにつながり、食べることへの関心にもつながることを願っています。



令和7年度 各専門部活動報告

予算対策部

部長 板木 厚典

【全国私立保育連盟 予算対策会議】

- 6月19日(木)
(公社)全私保連 第1回予算対策会議
会場：参議院議員会館 講堂
併せて、島根県選出議員事務所訪問
- 10月15日(水)
(公社)全私保連 第2回予算対策会議
会場：参議院議員会館 講堂
併せて、島根県選出議員事務所訪問



【島根県保育三団体関係】

(令和7年度幹事団体 日本保育協会島根県支部)

- 5月29日(木) 第1回 県との意見交換会
会場：島根県職員会館
- 7月1日(火) 三団体代表者会議
会場：オンライン
- 8月19日(水) 第2回 県との意見交換会
会場：浜田市立図書館

<陳情要望>

- 9月25日(木) 環境厚生議員連盟総会
同日 環境厚生部会総会
陳情・要望内容の
説明



- 10月21日(火)

県知事、県議会議長、健康福祉部長へ陳情要望活動
会場：島根県庁



【令和7年度 カンパ金並びに署名活動】

請願署名総数 12,463名 カンパ金総額 731,401円 (12月1日現在)

全国私立保育連盟へ署名およびカンパ金450,000円を送付・送金をおこないました。カンパ金残額については予算対策部活動費へ充当させていただきます。

今期をおえて

今年度も会員皆様のご意見をいただき、人口減少及び少子化への対策、小規模保育所の経営基盤強化、保育の質の担保と公定価格の抜本的な見直し、人材確保策、障がい児保育への対応などを、国・県へ要望しました。

国においては急激に進む人口減少と少子化への対策を進めつつありますが、スピード感はなく、内容についても的確なものとは言えません。また、処遇改善制度の1本化、1歳児配置改善加算の適用要件など、半ば強引な制度運用が目立っています。

こうした制度運用が改善されるよう、そして島根県内の保育所が安定的に運営できるよう、粘り強く国や県へ現状を訴えていくこと、改善策を提案していくことが、今後も予算活動の重要な役目であると強く感じています。



調 査 部

部長 石川 佳照

●8月21日(木)～22日(金)

全国調査部長会議

記念講演「生涯にわたる心身の健康の土台はこども期につくられる」

全私保連調査部報告「最新のクイックリサーチ(QRS)報告」

「アンケートにおけるAI利用の可能性について」

地方組織から調査報告(島根県発表)

●調査部報告

『各園(所)のICT活用の現況調査』

対象: 島根県私立保育連盟加盟施設

期間: 令和7年7月20日～令和7年8月30日

※調査内容については、島根私保連のホームページに掲載(回答率 86.0%)

「1歳児配置改善加算」の具体的要件として「業務においてICT活用」が明記されたこともあり、関心の高いテーマであったかと推察されます。調査結果によると、9割近くの園でICTの活用が進み、業務の効率化や事務作業の軽減につながっています。活用しているICTシステムは10社程度に及び、各社の長所をいかし複数のICTを活用している園もあります。各園が園の実情に合わせた機能を取り入れているために、ICT活用に関する連絡会はなく、業者との情報交換が主になっております。今後もより一層継続してICT活用(未導入の園は導入)が進んでいく中、多くの園ではパソコン等のハード面の買い替え(導入)や更新のランニングコストに対する補助金や助成を求めています。また、アンケート調査を通して、1月にICT推進委員会を設置しておられるあい川保育園に、調査部で視察訪問させていただき取り組みについて伺いました。

今回の調査結果や視察を踏まえ、島根県内のICT活用の現況の情報を共有し、今後の島根県への要望事項に役立てていきたいと思っております。

青 年 部

部長 森山 直美

今年度の青年部の研修として、11月27日(木)に視察研修と青年部員対象とした情報交換会を行いました。

視察研修では、出雲市にある児童発達支援Midori・放課後デイサービスかがやきクラブにて、事業の説明や、実際に子ども達やその保護者がどのように利用されているかを視察させていただきました。現在、企業型など様々な運営形態の児童発達支援事業所や、放課後デイサービスもありますが、社会福祉法人が運営している事業所を実際に見学させていただいたことで、開設当初の深い思いや願いもお聞きすることができ、実りある視察研修となりました。また、お昼には、情報交換会を開催しました。東西に広い島根県ですが、研修会の機会に園でのふとした悩みや、新しい考え方を共有されている姿もあり、園の壁を越え、様々な意見や情報交換ができるのは青年部ならではの醍醐味と実感しました。

今年度は、2月にも全体研修会を予定しております。今後も青年部の研修では、楽しく仲間と繋がりを築くことができ、次の時代を担う若手職員の育成の場として、活動を展開していきたいと思っております。末筆になりましたが、日々の業務多忙の中、青年部の研修へのご参加にご協力をいただきありがとうございました。

研 修 部

名越 絵美

【これからの保育情勢と全私保連の取り組みについて】

日程：令和7年5月20日(火)（島根県私立保育連盟第46回定期総会に合わせ実施）

講師：全国私立保育連盟 副会長 塚本 秀一 氏

【調理担当者研修会】

内容：スチコン勉強会並びに衛生研修会

日程：令和7年7月16日(水)

講師：ホシザキ中国株式会社 蟬谷 奈穂 氏・笠井 瑞穂 氏・木戸 光栄 氏

【キャリアアップ研修(障がい児保育)】

日程：令和7年9月10日(水)～12日(金)

講師：島根大学大学院 特任教授 原 広治 氏

【キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)】

日程：令和7年10月1日(水)～3日(金)

講師：島根大学大学院 特任教授 原 広治 氏

【保育リーガルサービス危機管理研修会】

日程：令和7年12月2日(火)

講師：上八丁堀法律事務所 弁護士 久保 豊年 氏・弁護士 三保 友佳 氏

【社会福祉法人運営・会計研修会】

日程：令和8年1月15日(木)

講師：(株)幼保経営サービス 会計事業部副部長 柿崎 昌 氏

今年度も、調理担当者研修会や危機管理研修会など、すぐに保育や調理、保護者対応などに生かしていただける研修になったのではないかと考えております。次年度も会員の皆様が学びたい、知りたい内容の研修を企画してまいります。たくさんの方のご参加、誠にありがとうございました。

広 報 部

部長 本田 美雪

令和7年度10月に広報誌59号、2月に60号を発刊いたしました。今年度から新しい企画として、「郷土食」「こんなところへ行っています」を立ち上げました。前年とは違う内容で、原稿をお引き受けくださった施設の方に戸惑わせてしまった点もあったと思います。にもかかわらず、各園とも趣向を凝らした原稿を送って下さったお陰で魅力ある記事となりました。ありがとうございました。来年度も同じ内容を続けてまいりますので、引き続きご協力のほどをお願いいたします。

また、今年度から各施設へ郵送していたのを、各ブロック長施設へまとめて送付とさせていただきます。ご迷惑をおかけしましたが、郵送費の節約になりました。ありがとうございました。

編集後記

「私保連しまね60号」をお届けします。

今年度から広報担当となり、慣れない作業に数々の失敗を繰り返しましたが、皆様のご協力のお陰で何とか無事に発刊できました。ご協力に心より感謝申し上げます。

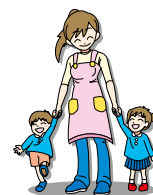
振り返れば今年度も様々な出来事がありました。猛暑、米価高騰、熊被害多発、初の女性総理誕生…。移り変わる社会に子ども達の生活は否応なく巻き込まれていきます。子ども達の笑顔を守る為、日々奮闘されている先生方に、少しでも憩いの時間を与えられるよう来年度も頑張っていきたいと思います。

(波子保育所 部長 本田 美雪)



2026年1月現在の内容です。

福利厚生充実による優秀な人材確保と
職員の皆さまに安心して働いていただくために



職員のための 病気とケガのトータルプラン

(業務災害総合保険)

- 特長1** 業務中、通勤途上のケガを職員の人数に関係なく補償します。
- 特長2** 園の職員全員を無記名で補償します。
●パート、アルバイト、派遣職員も補償できます。
- 特長3** 職員の増員・入れ替りも自動的に補償します。
●年間総収入による保険料で、人数の報告・精算などは不要です。
- 特長4** 病気による入院の補償や、がんによる通院の治療費補償も追加できます。
●病気を補償する特約については、事業主、常勤※の法人役員(理事・監事)、職員、常勤※のパート・アルバイトの方が対象となります。
※常勤とは、病気を被った時の直前6か月間における、週あたりの平均労働日数が3日以上、かつ週あたりの平均労働時間が15時間以上に該当する場合をいいます。
- 特長5** 労災事故の賠償金や訴訟時の弁護士費用を最大5億円まで補償できます。
●損害賠償金額の決定や争訟・弁護士費用などの支出にあたっては、事前に弊社の承認が必要です。



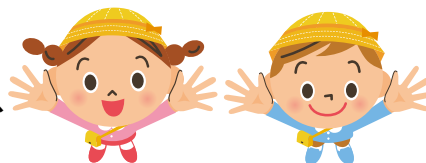
*「職務災害トータルプラン」は、「職員のための病気とケガのトータルプラン」に2022年9月1日より名称を変更しました。

お子さまの成長を安心して見守るために

キッズガード[®]

(こども総合保険)

- 特長1** 団体割引適用 **約59%割引** (前年2025年度、加入者数5万人以上の割引率)
園が窓口の団体加入制度だから、団体割引・損害率による割引が適用されています。
- 特長2** 24時間補償 **ケガによる入院・通院は1日目から補償**
ケガによる入院・通院など、園児をとりまく様々なリスクに対応した保障制度です。
- 特長3** ご家族の賠償事故も対象 **国内示談交渉サービス付き**
個人賠償責任補償は園児とご家族が対象です。
- 特長4** お電話一本でお支払い **簡単支払特急便**
ケガによる入院・通院で10万円以下のご請求は、お電話一本で保険金をお支払いします。
※ご利用にあたっては所定の条件があります。



引受保険会社

AIG損害保険株式会社

〒106-0041 東京都港区麻布台一丁目3番1号 麻布台ヒルズ森JPタワー
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

※この広告は保険商品の特長をご案内したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧ください。弊社までお問い合わせください。

B-250534

〔全私保連推奨〕各種団体保険制度



有限会社ゼンポ

公益社団法人
全国私立保育連盟

東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間(中途加入可能)

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険)」
「職員団体傷害保険(総合生活保険)」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間(中途加入可能)

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新(中途加入可能)

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取
扱
代
理
店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806引
受
保
険
会
社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社: 公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険(レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の
概要・団体総合生活保険(傷害保険)の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず
「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨(総代理店)



きっずノート

「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題

月額 5,500円(税込)のみ

無料体験実施中!

お申し込みは
コチラ

ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育連盟)



私保連しまね No.60

発行日/令和8年(2026)2月
発行者/会長 川上 雅文発行所/島根県私立保育連盟
編集者/本田 美雪・本田 行瑛